



あけましておめでとうございます



新年あけましておめでとうございます。15日間の長い冬休みも終わり、2学期後半がスタートしました。2学期後半は、日数も少なくあっという間に終わってしまいます。6年生は中学進学、1～5年生は進級に向け、明確なめあてを立ててそれを達成するために、一日一日を大切にしながら過ごしてほしいと願っています。

今年は60年ぶりの丙午。私も丙午生まれの年男です。年神様からの加護をいただけるよう、我が家の玄関には「しめ飾り」を飾りました。初詣では、円山小学校が更に大きく飛躍し、「まどかっ子」が心も体も学力も素晴らしく成長できるようにお願いしました。今年はみんなで、百万馬力で元気いっぱいエネルギー＆パワフルな一年にしたいと願っています。今年も、円山小学校の教育活動にご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願いたします。



我が家のしめ飾り



我が家の粕汁

今年のお正月は、何十年ぶりに粕汁をいただきました。久しぶりにいただく粕汁は、たくさんのお野菜の味がしみていて、体も温まり絶品の味わいでした。前に粕汁をいただいた時には、知り合いの酒蔵さんからいただいた酒粕を使いました。今回の酒粕はなんと、円山地区のリゾット米で作ったお酒「リゾッシュ」の酒粕です！そう思うと、余計に味が何倍もおいしく感じられました。我が家では、10分以上沸騰させて煮込みながらアルコールを飛ばしてもらいました。アルコールさえ飛ばせばお子様もおいしくいただけますので、ご家庭でリゾット米と粕汁のセットなどはいかがでしょうか。

校長室より

<1/8児童朝礼より>

新年最初の児童朝礼は、干支に関する昔話をしました。

干支は十二支あって、その順番がどうして決まったのかという昔話です。



干支は12あって1年ごとに変わっていきます



昔々、神様が言いました。1月1日の朝に私の屋敷に来なさい。早く着いた順に動物の大将にしてあげます。



牛は自分の動きがゆっくいなのを知っていたので、正月の前の晩から出発し始めました。ずる賢いネズミは、こそっと牛の背中に跳び乗って、すやすやと眠りながら移動しました。牛は夜明け前に到着し、門が開くのを待っていました。



やがて重々しく門が開きました。すると、ネズミが牛の背中からヒョイととびおけると、ちゃっかり1番に門に入り、神様に新年のあいさつをしました。



あけましておめでとう
ございほ **キュー**

牛は驚きと悔しさで言いました。

もうー！ 



ちなみに今年の干支の午は、7番目に到着しました。こうして1番にあいさつしたネズミを先頭に「ね、うし、とら、う、たつ、み、うま、ひつじ、さる、とり、いぬ、い」の順に干支が決められましたとさ。この他にもカエルさんもいましたが、13番目になってしまったので「もうカエル」と言って帰ってしまいました。

※昔話には一部脚色した部分があります。ご了承ください。

~~馬年~~

午年

うまどし

午前
午後
正午

今年は「うまどし」ですが、「馬年」ではなくて「午年」と書きます。それは何故でしょう？この漢字をどこかで見たことはありませんか？そうです。午前や午後、正午といった時間を表すときに使います。では、なぜ、時間を表すのにこの漢字を使うのでしょうか？その理由は、昔の時刻や方角を表す方法に「干支」が関係あるからなのです。是非、図書室の本等で調べてみてください。

「笑う門には福来たる」
今年も笑い声が響いて、
みんなが笑顔で過す正月を
円山小学校に祈りますように。